

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	心身障がい福祉センター つくしんぼ園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の質の高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弱視児、盲児に配慮した教材、玩具の設定</li> <li>・数少ない視覚障がい児の保護者同士がつながり合えるきっかけ作りとして、当園を卒園した先輩保護者の話を聴く機会を設けている。</li> <li>・当センター視覚障がい成人部門の協力を得て、成人期の支援や制度等について情報提供する場を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚以外に、身体等他の障がいを重複して持つ児について、様々な専門職との連携を一層深め、より充実した療育を目指す。</li> </ul>
2	対象エリアを福岡市外からも受け入れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的にも希少な視覚障がいに特化した通園であるため、ニーズがあれば福岡市外からの通園、外来も受け付けている。</li> </ul>	
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材育成	視覚障がいは他の障がいに比して数が少ないため、制度上多くの人数配置が困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、視覚障がい児担当の新規採用職員を1名採用した。引き続き、大学へ出向いてご案内をし、視覚障がいを学ぶ学生等への周知を図っていく。</li> <li>・毎年、視覚障がい乳幼児研究大会に参画し、知識向上に努めている。</li> </ul>
2			
3			